

Love & Peace & Smile

L P S

江戸川区立春江中学校

3学年 学年通信

第12号 2024.11.29

薬物乱用防止教室

薬物乱用防止教室では、薬物専門講師の方が、ご来校くださり、ワークショップも交えながらご講演くださいました。

薬物とは何なのか、身体に科学的にはどのような影響がでるのかといった専門的なお話から、「大麻グミ」など一見して分からない薬物を渡された時の判別の仕方など、実践的な対処法まで幅広く教えていただきました。最後にはレプリカも見せていただき、「見た目がラムネみたいで、だまされそう。怖い。」という声もあがっていました。薬物の恐ろしさを再確認するとともに、自分がそういった場面に直面した際にどうしたらよいのかを、具体的に考えることができました。



みんなの感想

薬物については、授業で習っていたのですが、改めて怖さを知ることができました。また、自分としてはあまり身近にはないと思っていた薬物が、お菓子里にされたり、隠語を使って分からないように誘われたりすることで、身近にも危険が潜んでいることを知りました。友達に誘われたら、「友達の言うことだし信用してしまおう」と考えてしまうかもしれないと思いました。しっかりと考え、危険だと感じたらはっきり断りたいです。

「薬物乱用」は自分には全然関係ないものかと思ったけれど、病院で処方された薬を処方された通りに飲まないことも「薬物乱用になる」と知ってびっくりした。大麻チョコやグミなど、本来は薬物に関係のない人が、間違えて食べてしまうこともあると思ったので、怪しいかどうかパッケージや成分表を見て、よく分からない成分がないかなど、しっかり注意を払って食べたいなと思いました。

今日、一番納得したところは、脳が「お腹が空いているからご飯を食べる」という指令を出し、ご飯を食べることで「嬉しい」と感じる。だからそれを繰り返している。これは薬物も同様で、「1回だけ」と感情で決めても、脳が薬物を摂取することを「嬉しい」と思ってしまったら、ご飯と同じで我慢することはできず、繰り返してしまう、という話だった。「1回だけ」という考えがとても危険なのでやめた方がよいことが改めてよく分かった。

私は今まで、「もしその場で断り切れず、受け取ってしまったとしても後で捨ててしまえば穏便に解決できるじゃん!」と思っていました。しかし、所持しているだけで犯罪になる、受け取った瞬間に逮捕される可能性があると聞き、ハッとしました。これからは、どのような場面でも勇気をふりしぼって、受け取らない、ということ意識して生活していきたいと思いました。

薬物はすごく身近にあって、自分はやらないと考えているだけではいけないと思った。市販薬も時によっては危険なものになるので、正しい知識をもつことが大切だと分かった。中高生の間でも広まっているようなので、テレビの向こう側のことだと思わず、誘われた時の断り方を考えておくことが大切だと思った。薬物はやめたとしても、フラッシュバックや離脱感が起こり、脳の完全回復はしないことを知って、「1度だけなら」というのも危険だとわかった。今日のことを頭に入れて生活に生かしたい。

保護者の皆さまへ

本日から始まる三者面談は、担任と受験校について話し合う最後の面談となります。ご家庭でよく相談してから参加するようお願い致します。面談では次の物を配布する予定です。期日等をよくご確認ください。

〈面談で配布する物〉

- ① 進路ファイル(入試関連書類作成願い)
…受験校の入試要項、作成をお願いする調査書・推薦書等を入れて提出→12月20日(金)まで
- ② 推薦・併願優遇希望願い※希望するご家庭のみ
…署名、捺印の上、面談翌日(最終は12月9日(月))には確実にご提出ください。
- ③ 確認テスト結果
…解答・解説を生徒に配布しております。受験勉強にお役立てください。